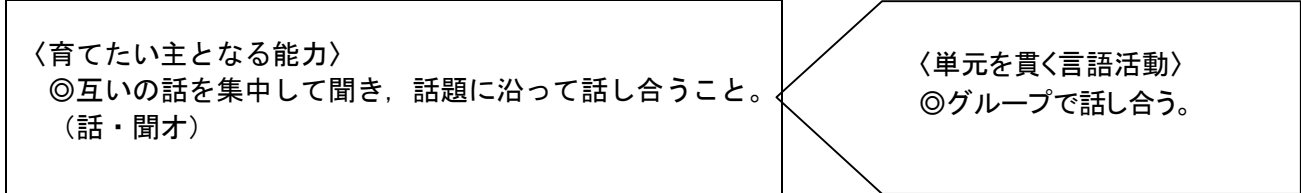


考えを出し合って、「1年生とあそぼう会」ですることをきめよう

中心学習材 みんなできめよう（光村図書2年下）

補助学習材 「グループで話し合おう」（自作）



1 子どもと単元について

子どもたちは、これまでに「話すこと・聞くこと」の学習として、「ともさんはどこかな」で、大事なことを落とさないようにしながら話したり聞いたりする活動を、「ことばをナイスキャッチ、ナイスパスして対話を楽しく」（自作単元）の学習では、1対1の対話で、聞いたことを確かめたり知りたいことを尋ねたりするという活動を行った。また、「あったらいいな、こんなもの」では、分からないことやもっと知りたいことを1体1の対話をして聞き合い、学級全体で「あったらいいな、こんなもの発表会」を行った。これらの活動を通して、子どもたちは、相手の話を受け止めて聞く態度が身に付いてきており、話題に沿って話し合う力を高めている。日常生活においては、自分の話を聞いてもらうことの喜びや友達の話聞くことの楽しさを感じながら話したり聞いたりしている様子がみられる。

中心学習材「みんなできめよう」は、司会者の役割と話し合いの手順を学ぶ導入で扱う。補助学習材「グループで話し合おう」（自作）は、子どもたちが、話し合いのよい態度に気付き、考えを一つに決めていく話し合いの仕方を学ぶために準備したものである。話し合って決めたことを実際に行うことができる話題を設定することで、子どもたちは、話し合い活動に意欲をもって取り組み、話題に沿って話し合う力を育てることができる学習材であると考えられる。

指導に当たっては、次の三つを大切にすること。一つ目は、話し合いの進め方を理解させることである。そのために、中心学習材を用い、司会者が話し合いを進めていることや一人一人が進んで自分の考えを話していること、質問されたことに答えていることなどに気付かせるようにする。二つ目は、考えを一つに決めるための考えの整理の仕方を理解させることである。そのために、補助学習材を使い、考えを一つに決めるために大切なことに気付かせるようにする。考えを一つに決めるためには、まず、互いの考えと根拠を聞き合い、確かめたり質問したりして内容を理解するということが大切である。次に、「1年生」という相手や「あそぼう会」の目的、遊ぶ人数や時間、場所という条件に照らし合わせて考えさせるようにする。そして、出された意見を比べて考え、賛成や反対意見を出し合って一つの遊びに決めるという考えの整理の仕方を理解させたい。三つ目は、自分たちの話し合いを振り返らせ、次に生かすことである。そのために、1回目の話し合いの様子を録音して聞かせたり、話し合いの内容を録音テープから起こしたものを読んだりして、自分たちの話し合いについて自己評価をさせる。子どもたちは、できるようになったことを自覚したり2回目の話し合いで改善したいことを明確にもったりすることができる。この学習を通して、話し合いの仕方を身に付けさせると共に、話し合って物事を決めたり解決したりすることのよさを感じ取らせながら、話題に沿って話し合う力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

○友達の話の聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら、進んで話し合おうとしている。【関心・意欲・態度】
◎グループでの話し合いの仕方を知り、友達の話の集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。

【話すこと・聞くこと オ】

○言葉には、事物の内容を示す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（ア）】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○友達の話の聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら、「あそぼう会」ですることを決めようとしている。	◎話し合いの仕方を知り、友達の話の集中して聞いたり、話題に沿って自分の考えを話したりして、考えを一つにまとめている。	○話し合いを進めたり相手に意見を求めたりする言葉を使って、話し合いをしている。

4 学習指導計画（全6時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。（1時間）

- ① 「1年生とあそぼう会」でやることを決める話し合いをするというめあてを立て、学習計画を立てる。
中心学習材を読んで、司会者が話を進めていく話し合いの手順を理解する。

<評価>

- ① 司会者が話を進めていく話し合いの仕方を知り、単元の見通しをもとうとしている。
《発言・ワークシート》

第2次
話し合いの仕方を学び、「第1回 1年生とあそぼう会」で何をするか決めるために班で話し合う。（3時間）

- ② モデルビデオを見て、考えを一つに決めるための話し合いの仕方を学び、「考えを一つに決めるために大切なこと」をまとめる。
- ③ 「第1回 1年生とあそぼう会」でする遊びについて自分の考えをもち、班で話し合う。
- ④ 1回目の話し合いの録音テープを聞いて話し方・聞き方について振り返り、改善点に気付く。

<評価>

- ② 考えを一つに決めるための話し合いの仕方を理解している。
《発言・ワークシート》
- ③ 「第1回 1年生とあそぼう会」の内容について、友達の考えとわけを聞き、尋ねたり応答したりしながら話し合っている。
《話し合いの様子・テープ・ワークシート》
- ④ 1回目の話し合いのよいところや改善点に気付き、話し合いのめあてをもっている。
《発言・ワークシート》

前時までに学んだ話し合いの仕方の知識を生かして、グループで話し合いをする。

課外
1年生となかよしになろう

「第1回 1年生とあそぼう会」をする。

第3次
2回目の話し合いを行い、単元の振り返りをする。（2時間）

- ⑤ 「第2回 1年生とあそぼう会」でする遊びについて自分の考えをもつ。
1回目の話し合いを受け、2回目の話し合いのめあてを決める。
- ⑥ 「第2回 1年生とあそぼう会」で、どのような遊びをするかについて班で話し合う。
話し合いの仕方を振り返り、単元のまとめをする。（本時）

<評価>

- ⑤ 1年生とどんな遊びをしたいのかを考えている。
《ワークシート》
- ⑥ 「第2回 1年生とあそぼう会」の内容について、友達の考えとわけを聞き、尋ねたり応答したりしながら話し合っている。
《話し合いの様子・テープ・ワークシート》

第2次で学んだ話し合いの仕方の知識・技能を生かして、グループで話し合いをする。

課外
1年生となかよしになろう

「第2回 1年生とあそぼう会」をする。

【他教科等・日常活用場面】

○友達と話し合って物事を一つに決める。(学級会、係活動や掃除の工夫、遊びの内容)

5 本時の指導

(1) ねらい

友達の意見とわけを聞き、尋ねたり応答したりしながら、「1年生とあそぼう会」ですること一つに決める話し合いをすることができる。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

第2次までの学習では、グループでの話し合いの仕方や互いの意見とわけを聞き合っ一つにまとめていくための考えの整理の仕方について理解することができた。そして、「第1回 1年生とあそぼう会」ですことをグループで話し合う活動や話し合いの振り返りを通して、改善点に気付くことができた。本時では、その知識・技能を生かして、相手の意見とわけを聞き、質問をしたり進んで考えを話したりしながら、「第2回 1年生とあそぼう会」です内容を一つに決めていく話し合いを班で行う。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
1 本時の学習課題を確認する。 はんで話し合っ「1年生とあそぼう会」ですことをきめよう。		○単元における本時の位置付けを確かめながら、学習課題の確認を行い、学習の見通しをもたせる。 ○前時に立てた個人のめあてを確認し、話し合いへの意欲をもたせる。
2 学習課題を解決する。 (1) 話し合う手順を確認する。 (2) グループで話し合う。 ・一人一人が意見とわけを話し、その都度確かめたり質問したりする。 ・考えを一つに決めるために大切なことを確かめ、話し合いを再開する。 ・話し合ったことを確認する。 (3) 話し合っ決まったことを全体で交流する。	〔話し合いのじゅんじょ〕 ①一人一人が話す。 ・したいあそびとそのわけ ②たしかめ・しつもん ・たしかめたいこと ・くわしく知りたいこと ③さんせい・はんたい ・どのあそびがいいか考えを出し合っ、一つのあそびにきめる。 ○考えを一つに決めるために大切なこと ○わけを聞いて考えること。 ①めあてに合っているか。 ・1年生と ・なかよくなるために ②きまりに合っているか。 ・あそぶ人数…9～10人 ・ばしょ…校てい、体いくかん、教室、ワークスペース ・時間…ロングの休み時間(30分間)	○話し合いの手順を確認する。 ○わけを聞き、分からなかったことやもっと詳しく知りたいことを質問することが内容を理解することであり、一つに決めるために大切なことであることを押さえる。 ○「話し合いの順序②」まで進んだら、一旦話し合いを中断させる。友達の意見やわけが分かったかを確かめ、話し方や聞き方について振り返らせる。 ○考えを一つに決めるために大切なことを確認する。考えが一つに決まらない班には、相手や目的、条件を確かめさせ、話し合いを進めるように適宜、支援する。 〔評価〕友達の意見とわけを聞き、尋ねたり応答したりしながら「1年生とあそぼう会」ですことを一つに決める話し合いをしている。 【話し合いの様子・テープ・ワークシート】 ○決まった遊びとそのわけを班ごとに確認し、ワークシートにまとめさせる。 ○よい話し合いができたから遊びを一つに決めることができたことを価値付け、本時の振り返りにつなげる。
3 本時の学習を振り返る。 (1) 本時の話し合いについて自己評価する。 (2) 本単元の学習を振り返り、感想を書く。		○話し合いのめあてに沿って、自己評価させる。単元の振り返りについては、学習して「わかったこと」や「できるようになったこと」を観点として書くようにする。 ○本単元で身に付けた力や話し合うことよさを確かめ、これからの学習や日常生活場面で、進んで話し合いをしていこうという気持ちをもたせる。
4 単元のまとめをする。		

〔教材研究①〕

議題：「**1年生と**の遊ぼう会」ですることをグループで決めよう。

相手意識：自分たちより小さい，できないこともある，1年生のしたいことに合わせる
目的意識：仲よくなりたい，お手本になりたい，教えたい，お世話をしたい，優しくしたい

話し合って決めること

- ①いつ
 - ②どこで・体育館・校庭・教室
 - ③だれと・学級全体・グループ・個人
 - ④何を・おにごっこ（○ルールを知っている，1年生もできる。△走力が違う）
 - ・縄跳び（○
 - ・遊具
 - ・昔あそび（けん玉，お手玉），
 - ・すごろく（簡単にできる，
 - ・
 - ⑤どのように・ルール
- 遊ぶのか。
- ⑥伝え方

「遊び会」の内容

*「あそぼう会」は2回行う。1回目は、「はじめの会」。顔合わせの会をする。2回目は，グループに分かれての遊び会。

「はじめの会」の内容例

- ①自己紹介
- ②仲良くなるための簡単な遊び
- ③感想発表

〔考えられる遊び〕

- ・顔じゃんけん ・どっちひくの？ ・あっちむいてホイ
- ・お絵かきじゃんけん ・おちゃらかホイ
- ・ずいずいずっころぼし ・おせんべやけた？

「すること」って？

- ・内容（遊び）
- ・ルール

〔第2回 あそぼう会〕

条件

- ①人数：班ごと遊び（1年生：5名，2年生4名～5名，計9名～10名）
- ②時間：ロングの昼休み（30分間）
- ③場所：校庭，教室

〔考えられる遊び〕

- ・長縄 ・仲良しとび（二人とび） ・手つなぎおに ・だるまさんがころんだ ・遊具
- ・花いちもんめ ・ボール送りゲーム ・ゴムとび ・椅子取りゲーム ・ハンカチ落とし
- ・けん玉 ・あやとり ・かるた

〔教材研究②〕話し合いの実際

モデル

<p>A (司会) 縄跳び * 10人くらい的人数 なら、何回も跳べるか らみんな楽しめる。 (10人という人数に 適した遊び)</p>	<p>B 手つなぎおに * 1年生と手をつなぐ から仲良くなれる。 (「仲良くなる」という ねらいに沿った考え)</p>	<p>C すごろく * 1年生もルールを知 っているから、みんな が楽しい。 (みんながルールを知 っているというよさ)</p>	<p>D だるまさんがころんだ *。 (準備物がなくてすぐ できるよさ。)</p>
<p>○</p>	<p>○ △走力に差がある。 △手をつなぐと転んだ 時、危ない。</p>	<p>○ △10人一緒に遊ぶの は難しい。</p>	<p>△</p>

司会：今から「第2回 1年生とあそぼう会」ですることを話し合います。はじめに、みんなの考えを出し合ひましょう。Bさんは

B：私は、「手つなぎおに」がいいと思います。わけは、「おに」になると1年生さんと手をつなぐことができるからです。

司会：Bさんの意見に質問や確かめたいことはありますか。

D：どうして「手をつなぐことができる」といいと思ったのですか。

B：はい。手をつなぐとうれしいから、なかよくなれると思ったからです。

D：はい、わかりました。

司会：次にCさんの意見を話してください。

C：ぼくは、「すごろく」がいいと思います。わけは、みんながルールを知っているの、すぐに遊ぶことができるからです。

C：

D：私は、「だるまさんがころんだ」がいいと思います。わけは、準備する道具がなくて、すぐに遊ぶことができるからです。

司会：ぼくは、長縄がいいと思います。わけは、10人ぐらいで遊ぶにはちょうどいい人数だからです。みんなの意見についてたしかめたい

D